
and I vs. the World (ユー・アンド・アイ・バーサス・ザ・ワールド)

未来

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

You and I vs. the World (君・アンド・アイ・バーサス・ザ・ワールド)

【Zコード】

Z0824Z

【作者名】

未来

【あらすじ】

世界に嫌われた僕を君は助けてくれた。でも、世界はそんな君を攻撃しだした。

僕は一人ぼっちで震えてた。

寒くて暗い世界の片隅でずっと震えていた。

ある日、君が僕の前に現れた。

君は僕にぬくもりをくれた。

僕の体から震えが消えた。

なんでだろう。

いつの間にか心まであつたかくなつてきたよ。

暴力、裏切り、自己保身、イジメ、自殺、虐待、格差社会、鬱、嫉妬、差別意識

君が笑つた。
僕も笑つた。

ある日、世界が君を攻撃しだした。

君の顔から笑顔が消えた。

僕の顔から笑顔か

星が輝く。
風が吹く。
雲が流れる。花が咲き、雪が降る。
二人で見上げた夜空。君はもうしゃべらない。

大地が揺れた。波が僕らの街を飲み込んだ。

僕は君の手を握り続けている。

君があの日、僕の手を引いてくれたから、僕は今自分の足でたつて
いられる。

君が僕にぬくもりをくれたから、
僕の心はまだ生きている。

世界は相変わらず君を傷め続ける。
君の心はもう…。

僕は世界の中心で君への愛を叫んだりはできなかつた。
その代わり、四畳半の片隅で愛をやれやいた。
君に聞こえていたのかな。

一人で見たあの映画。君は覚えていらっしゃるか。

エントローリが流れ始めた時
僕かふと隣に目をやると君は泣いていた。

映画館を出ると、田が暮れたばかりの空には一等星が輝いていた。君は燐然と輝く一等星の脇で微かに光る星につぶやいた。

「一等星になれなかつた君へ」

世界は動く。毎日様々な出来事が新聞の一面を飾る。
世界は君を攻撃することに飽きた。

/ / / / /
/ / / / /
/ / / / /
/ / / / /
/ / / / /
/ / / / /
/ / / / /
/ / / / /
/ / / / /
/ / / / /

季節は巡る。桜のつぼみが膨らみ始め、春がやつてきた。
君の心はもう動かないの？

/ / / / /
/ / / / /
/ / / / /
/ / / / /
/ / / / /
/ / / / /
/ / / / /
/ / / / /
/ / / / /
/ / / / /

僕は決めた。

この世界と戦うこと。

君が僕にこの心をくれたんだ。

僕は君と一緒に戦う。

/ / / / /
/ / / / /
/ / / / /
/ / / / /
/ / / / /
/ / / / /
/ / / / /
/ / / / /
/ / / / /
/ / / / /

「Y o u a n d I v s . t h e w o r l d」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0824z/>

You and I vs. the World (ユー.アンド.アイ.バーサス.ザ.ワールド)

2011年12月3日00時45分発行